

生活科な
どの学習首都圏の小学校の子どもたちが来館
男鹿半島の自然や文化を活かして学ぶ

10月中旬、首都圏の小学校の子どもたちが、男鹿半島の自然や文化を活かして生活科や総合的な学習などを目的に来館しました。寒風山では火山噴火と大地の変化を観察し、半自然草原を利用して段ボールを使ってそり遊びをしました。どうすればそりが滑るのか子どもたちが主体的に考えました。ジオパーク学習センターでは、男鹿半島のでき方や日本列島のでき方を学ぶとともに、「堆積岩の声を聞いてみよう」、「ペットボトルに青空をつくってみよう」などの体験学習をしました。(写真は寒風山で段ボールを使いそり遊びをしている様子)

理科・総合
的な学習「土地のつくりと変化」、「ふるさと学習」など
実験や体験学習で、実感をもった理解に変化

ジオパーク学習センターには、たくさんの学校が来館しています。学習の理解を深めるために様々な教材を用意しています。学校から特に希望が多い教材は、堆積岩の岩石標本観察や火山噴火実験、液状化現象実験など。このほか、褶曲による山脈のできかたや断層のできかたを考える教材、火山灰の顕微鏡観察なども子どもたちに人気があります。実験や体験学習など団体予約の際にご相談ください。また学校教育を目的とする団体では、ジオパーク学習センターの学習と併せて希望に合わせ野外の地層観察も行っています。(写真は断層のできかたを考える学習の様子)



生涯学習

人生100年時代!! 年代に合わせて仲間と楽しく学ぶ
防災学習や「花で色水づくり」などの体験学習も

生涯学習を目的とする団体も多数来館しています。ジオパークを活かした防災などの大地の学習のほかに、楽しい体験学習を目的とする団体もあります。今年は公民館とコラボして「野草の押し花づくり」や「花で色水づくり」の体験学習の講座も開催しました。みなさんも楽しく学んでみませんか。(写真は男鹿産の約7000万年前の岩石を手にとって男鹿半島や日本列島のできかたを学んでいる様子)



来館者の目的とは

来館者は全国各地から。主な目的は「男鹿半島で日本列島のできかたを体感したい」

「男鹿半島を巡って日本列島のできかたに触れたい」—。ジオパーク学習センターには、連日全国各地からジオパークファンが来館します。その目的は様々ですが、多いのは「日本列島のでき方を知りたい」というみなさん。地球のダイナミズムを感じたいとして訪れています。